

原田の風

～ 3学期を迎えて ～

校長 知念 義光

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お変わりなく、新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、原田小学校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。51名の子どもたちが、保護者・地域の方々に支えられて健やかに成長しています。

さて、3学期は1年の中で、一番授業日数が少ない学期です。昔から「1月に行く。2月は逃げる。3月は去る。」と言われていています。あっという間に過ぎていきます。特に6年生は、卒業に向けて一日一日を大切に過ごしてもらいたいと思っています。

2学期の様々な反省から、本校の3学期の重点を次のように設定しました。始業式で子どもたちにも話をしました。

1 「わかるまで できるまで あきらめない」

学校は、今までわからなかったことがわかり、できなかったことができるようになる所です。そのためには、授業に集中して、自分で考えたり、みんなと考えたりすることが大切です。ところが深く考えずにすぐにあきらめてしまう子が多いのです。課題に対して何とか自分なりの答えを出そうとする過程がとても大事です。子どもたちは、「この問題は、習ってないので分かりません。」とよく言います。でも、人生はこれから先ずっと習っていないことの連続です。授業の中で、人生を生き抜いていく力を付けないといけなないのです。

2 「時間を守る」

3学期は登校する日が54日しかありませんので、時間を大事にする必要があります。子どもたちは、始業前に体力づくりをしていますが、寝坊をして参加できない子もいます。また、授業の始まりに遅れたり、掃除の取り掛かりが遅かったりする子もいます。学校は集団生活の基礎を学習する所でもあります。時間に遅れることは、人の時間を奪うことになることを指導していきたいと思ひます。

3 「病気にならないように気をつける」

これから本格的な寒さを迎えます。インフルエンザや感染性胃腸炎等の病気が流行します。感染のメカニズムや予防について、しっかりと学び、自分の体は自分で管理できる子になってほしいと願っています。

以上、3学期もよろしくお願ひ申し上げます。